



被災動物里親探し報告

被災犬、被災猫ちゃんたち、愛媛にようこそ！

フクちゃん ♀

5月20日、フクちゃんは新しい飼い主の四国中央市の尾藤さん家に無事到着です。

「可愛い～い 遠くから良く来たね」と、初めて会って、もう仲良し。

尾藤さん、最初は、「名前も内緒にしてー、顔が出るのも恥ずかしい」と言っていたのですが、「被災動物を引き取りたいという人が出てくるかもしれないで協力します」と言って、マスコミ取材も受けて下さりました。

実は、尾藤さんは14年前、大街道での里親探しキャンペーンで犬の里親さんになって下さった方でした。その犬が昨年に亡くなり、淋しい思いをしていました時に当会が被災犬猫の里親探しをしているのを新聞で知り、一匹だけでも助けたいと思われて、メールを送って下さいました。支援金送り先の「犬猫救済の輪」さんより里親探しの依頼を受けていたのでHPに出ていた犬の中で、一番淋しそうで幸薄そうなフクちゃんを尾藤さんが選びました。

口の周りも白くなりかなり老犬みたいだと、尾藤さんも私達も思っていました。ところが松山に到着したフクちゃんは若くて元気で活発な女の子。白毛に見えたのは単に顔が白かっただけで、悲しげな顔に見えたのはお腹が減っていただけ。みんなで笑ってしまいました。新聞・テレビに出たのでフクちゃんは近所でも有名犬。

散歩をしていると、みんなに声をかけられるそうです。



ロビン ♂

6月1日（水）全日空 595便 松山着18：40で、黒猫ロビンがやってきました。

新しい飼い主の中村さんはフクちゃんのニュースを見て、すぐにメールを下さいました。「高齢でボロボロの猫でも、ブサイクで誰ももらってくれないような猫でも構ないので、被災にあったかわいそうな猫を助けたいから、里親になります」と言ってくれました。

奥様のお仕事はネイリストでとってもオシャレ。ご主人も優しい笑顔のイケメンです。家具もインテリアもセンスが良くて、とってもキレイでステキなお家です。なので、ついつい「すみません。黒猫ちゃんが引っ搔いたりボロボロにしても許してあげてください！」と言ってしましました。先住猫のチィちゃん（7才♀）は猫と暮らすのは初めてで、どうか仲良くなります

ようにと願って帰路に着きました。

久しぶりの7月25日にロビンに会いに行ってみると、ロビンは玄関までお迎えに来てくれるし、すっかり中村家の猫になっていました。まだチィちゃんはロビンに「フーッ」といって威嚇し、中村さんは

「いつになったら受け入れる気持ちになるのか、チィが頑固で困っています」とため息。でも、「ロビンは気長に友達になろうと少しずつ近づいてとっても良い子です。黒猫を以前から飼いたいと主人と話していたんですよ」と、ニコニコ顔で2匹の猫を見守ってらっしゃいました。

